



新年度を迎えて

校長 赤尾 眞司

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。本日、平成30年度の新学期を迎えることができました。新入学児童74名を迎え、全校児童393名、1年生が3学級になり、全校で13学級でのスタートになります。

平成30年度の始業式、入学式で始まった今日は、子供たちが一番張り切っている日です。新しい先生や新しい友達との出会いの日でもあります。しかし、慣れ親しんだこれまでの環境とは勝手が違い、戸惑ってしまう子もいるかもしれません。ご家庭では、お子さんの様子をよく見てあげてください。お子さんの話をよく聞いてあげてください。喜んでいるようでしたら共感してあげてください。その上でご心配なことがありましたら、早めに、担任にご相談ください。

本校は今年度、開校140周年式典を実施します。在校生が本校の歴史の重さを感じ、これまでの卒業生の期待にも応えられる周年式典にしたいと考えています。

今年度は、平成32年度から実施される学習指導要領への移行期間となり、新しい学習内容が入ってきます。道徳が教科となり、通知表に評価を記入します。また、3年生から外国語活動が始まります。本校では、3・4年生が15時間、5・6年生が50時間実施します。

今日は子供たちと一緒に、元気に新年度のスタートを切ることができました。子供たちが大好きな学校、保護者や地域に愛され、信頼される学校を目指して、教職員一同、全力で取り組む所存です。本年度も、保護者や地域の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

教育は「百年の大計」といわれています。今の子供たちが社会の第一線で活躍するようになる頃には、どのような時代になっているのでしょうか。不易（どのように時代が変わっても変わらないもの）と、流行（時代とともに変わるものや変えていくもの）を踏まえて、人格形成の基礎づくりに努めて参ります。今年度も、3つの教育目標の実現を目指して、地域の核として信頼される学校づくりに取り組んでいきます。

教育目標

- 「よく考える子供」 学習意欲の向上、基礎的・基本的な知識や技能の習得、これらを活用する思考力・判断力・表現力などの総合的な学力の育成に努めます。
- 「仲よくする子供」 豊かな情操とみずみずしい感性を育み、人と協力し、差別やいじめ等を許さない心の教育を進めます。
- 「健康な子供」 たくましく生きる基盤として、心と体の健康を大切にし、知・徳・体の調和のとれた子供の育成に努めます。

これらの目標にそって、本校では、次の3点を大きな柱として教育活動を推進してまいります。

子供たちが将来自立して、国際人としての自己の能力を十分に発揮していくためには、自立の基盤である「心の豊かさ」の育成が不可欠になります。そのために、児童一人一人の自己肯定感や自尊感情を育む教育活動を重視し、「心のやさしい子、友達を大切にする子、何事にもがんばれる子」に育てていきます。

子供たちが生涯にわたって学び続けるために「学習に対する自信や意欲」を育てることが大切です。そのために、学習指導の一層の充実と、学習習慣の育成に努めていきます。確かな学力を身に付け、学ぶ楽しさを感じさせられるように、「学び合うこと」を大切に授業づくりを進めていきます。

健康で安全な生活をするこの意識を高め、よりよい行動がとれる児童を育てていきます。そのために、体力の向上に関する指導、安全に関する指導の充実を進めると共に、家庭や地域と連携して、社会の一員としての基礎を身に付けさせたいと考えています。